

2025 年 5 月 19 日

各 位

株式会社CAICA DIGITAL
代表取締役社長 鈴木 伸
(コード番号: 2315 東証スタンダード)
問合せ先:
代表取締役副社長 山口 健治
Tel 03-5657-3000 (代表)

過年度の連結財務諸表等に関する訂正事項の判明についてのお知らせ

このたび、当社が過去に発表した連結財務諸表等について訂正が必要であることが判明しました。現在、過年度の有価証券報告書および決算短信等の訂正作業を進めておりますが、現時点で判明している本件訂正に係る事実につきまして下記の通りお知らせいたします。

株主、投資家の皆さまをはじめとする関係者の皆さまには、ご迷惑とご心配をお掛けいたしますことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 訂正の経緯および理由

当社と同様に、活発な市場が存在しない暗号資産を保有しており会計監査人も同じUHY東京監査法人でありました、株式会社クシム（証券コード: 2345）（以下「クシム」といいます）において、2025年4月4日および2025年4月23日付で保有暗号資産の評価に関する調査報告書が公表され、2025年4月28日付で過年度の訂正報告書等が公表されました。これは、クシムが保有する暗号資産等の一部において、2024年10月期第2四半期における会計処理の一部について、過年度での評価の切り下げ処理とする訂正をおこなったものであります。

当社は、上記のクシムの公表を受け、当社内にて検討を行った上でUHY東京監査法人と当社の過年度の連結財務諸表等への影響について協議を行いました。その結果、当社グループが保有する暗号資産の一部について、当該暗号資産の保有量と市場での流通量のバランスを鑑み、2024年10月期第2四半期で評価の切下げを行っておりましたところ、2023年10月期末で評価の切り下げをすることがより適切であるとの判断に至ったものであります。

2. 今後の対応について

当社は、UHY東京監査法人と協議のうえ、本件について過年度の連結財務諸表等を訂正することとし、訂正する有価証券報告書および四半期報告書につきましては、2025年6月9日を目途に提出するとともに、同様に訂正する決算短信および四半期決算短信を速やかに開示する予定です。

本件訂正の影響額については現在精査中ではありますが、2023年10月期および2024年10月期の連結財務諸表等への影響はあるものの、2025年10月期の連結財務諸表等への影響は軽微であると見込んでおります。

なお、2025年10月期第2四半期決算の開示日は、2025年6月13日を予定しております。

3. 訂正予定の期間

2023年10月期期末（2022/11/01—2023/10/31）から2024年10月期期末（2023/11/01—2024/10/31）まで

以 上